

## 第4回 まちづくり実行委員会 会議

令和3年10月26日 18時30～

役場 小会議室

### 1. 1～3回目のおさらい

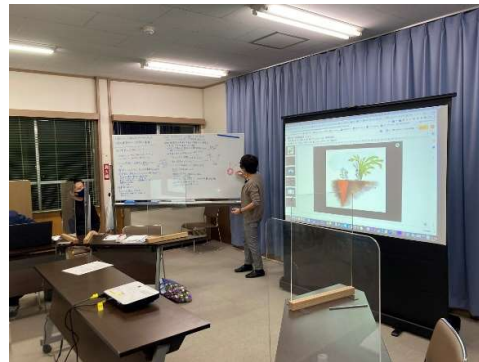
- ・現在は目的と手段を再検討するプロセスにいる。条例の一解釈の委員プレゼン、座談会のあり方を考えるワーク等を行ってきた。
- ・予算の流れについて説明。

### 2. まちづくり基本条例ができるまでの振り返り

- ・やってきた中でのポイントで、繰り返し繰り返し考えたことは①誰がやるの？主体は誰？②これを町のみんなに伝えるのはどうやってやったらいいの？③なんで条例が必要なの？なんで私たちはまちづくりが必要なの？

これまでの実行委員が出した一つの答は、条例として形として残り、かかわった人一人一人の中にそれぞれのまちづくりが残ったのではないかということ。おそらくいろんな答があるし、みんな違うと思うけれど、それこそがまちづくりではないか。

- ・2年半でかかわった人は町民21人、職員15人。会議は31回、その中でそれぞれが答を見つけてきたと思っている。
- ・条例ができるまでの話、これまでやってきた座談会を第一段階として、今度はそれを私たちの基盤として第二段階として引き継いでいきたい。



### 3. これまでの実行委員のメンバーからの聞き取りや関わってきた委員の意見（抜粋）

- ・座談会に行ってよかったと思ったのは、外から来た人の参加者の声を聴くのが面白かった。
- ・条例を作って、この町は自分たちで作っていきけるんだって思ったし、住民としておかしいと思ったら言えると思った。まちづくりの実践だと思ったのがバイオマスだった。でもやってみたら錯覚だった。
- ・視察先で「作ってからが大切」という言葉が印象に残った。
- ・まちづくり基本条例にかかわってきたメンバーは何かしらアクションを起こしている。町のためという意識が強い。関わっている人は意識が育っている。しかし、関わっていない人は座談会に来てもそれで終わってしまっている。

4. ワーク 実行委員で何をやりたいかというのを出し合う。

- ・東栄町内の看板が老朽化して見栄えが良くないから、おしゃれな看板がつけたい
- ・せっかくある図書室が活用されていないので、もっと活用できるようにしたい。
- ・子供たちを対象とした座談会をやって、まちづくりに興味を持ってもらうのはどうか。
- ・幼いころ町内でスタンプラリーをやっていて、友達と自転車で参加したのがすごく楽しかった。

**【まとめ】**

①何かみんなで取り組むことを決めて、それに向かって計画的に進めていく方法。

②まちづくりについて話し合うことが大切で、みんなで対話を重ねていくことに重きを置く方法。

上記を踏まえ、次回はまちづくり実行委員会の方向性を決める。